

## (7) 最終需要

最終需要の総額は 7 兆 9,236 億円で、このうち移輸出が 41.6% を占め、次いで民間消費支出が 26.6% の構成比となっている。

最終需要の総額は 7 兆 9,236 億円で、その内訳をみると最も構成比が高いのは移輸出 (41.6%) で、次いで民間消費支出 (26.6%)、総固定資本形成 (18.6%) の順となっている。平成 7 年との比較では、移輸出が 1.3 ポイント (42.9% 41.6%)、総固定資本形成が 1.1 ポイント (19.7% 18.6%) 減少したのに対し、民間消費支出が 0.7 ポイント (25.9% 26.6%) 一般政府消費支出が 2.3 ポイント (8.7% 11.0%) 増加した。

また、国との比較では国に移出がないことから、県 (国) 内最終需要で比較すると、全国に比べ民間消費支出 (富山県 45.5%、全国 54.4%) のウエイトが小さく、一般政府消費支出 (富山県 18.9%、全国 16.6%) や、総固定資本形成 (富山県 31.9%、全国 25.2%) のウエイトが高くなっている。

---

### 最終需要

最終需要は、家計外消費支出 (交際費や接待費など企業その他の機関が支払う家計消費支出に類似する支出)、民間消費支出、一般政府消費支出、総固定資本形成、在庫純増及び移輸出から構成される。

また、次の関係が成立している。

最終需要の合計 - 移輸入の合計 = 粗付加価値の合計

図1 最終需要項目別構成比

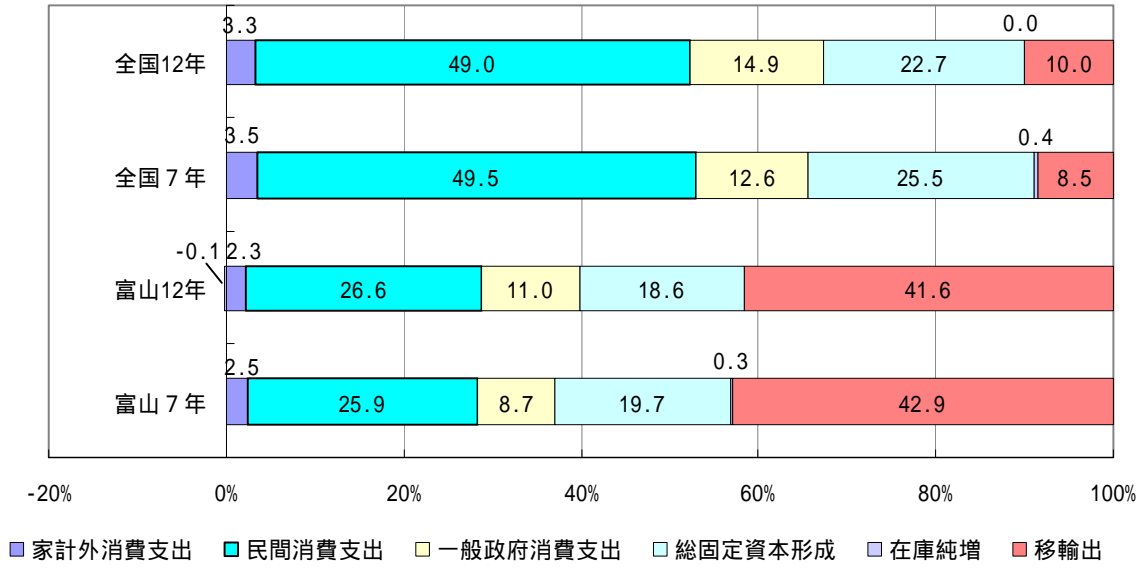


図2 県内最終需要項目別構成比

